

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・中間報告・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		中間報告		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価（ 月 日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	・工業の専門性の向上を図り、実際の・体験的学習に重点を置くとともに、産業界の求める人材を育成するため、知識・技術の習得のみならず、主体的に学ぶ意欲の向上を図り、学校全体でカリキュラム・マネジメントに取り組む。	①生徒が主体的に学習に取り組めるよう、学習の内容や授業の展開を工夫する。 ②基礎学力の定着に加えて、専門的、実践的な問題解決能力の育成を目指す。 ③情報端末を積極的に活用して、地域社会と連携し、デジタル社会の実現に向けた人材の育成を図る。	①T Tによる全体への指導と個別指導を組合せ、きめ細かい授業を展開し、わかったことを自ら学ぶ姿勢へとつなげられるようにする。 ②生徒自らが課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成が図れるような授業計画の策定や研修を行う。 ③できるだけ多くの機会の情報端末の活用を進められるよう、組織的に積極的な活用の取組を進めていく。	①生徒自身が主体的に学習に取り組む姿勢が見られたか。授業への積極的に参加する姿勢が見られたか。 ②学習環境の整備を進めるとともに、生徒自らが課題に取り組むことのできる教育課程であるか、研修・研究授業等の実践ができたか。 ③授業実践のための技術や情報を共有することができたか。研究授業等において組織的に授業改善を進めることができたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	・豊かな人間性の育成を図るために、学校生活の基礎を作るための生徒支援・教育相談の充実とともに、個に応じた生徒支援と相談体制の一層の充実により生徒理解に努め、生徒が安心して学べる学校づくりを進める。 ・生徒が中心となって、活動する学校行事を通して、社会に主体的に関わろうとする意欲を高める。	①生徒の問題の未然防止、早期発見、早期対応に努め、生徒が安心して学びつづけることができれば、個に応じた支援をすすめる。 ②生徒が中心となって学校行事を企画・運営するための仕組みづくりを、生徒とともにすすめる。	①かながわ子どもサポートドック実施及び、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等による教育相談実施により得た情報を関係者で共有し、生徒個々の支援、問題の未然防止、早期発見・対応につなげる。 ②生徒が学校行事の企画・運営へ積極的に参加するよう働きかけるとともに、実施を通じて得た知見を言語化し、次の行事企画・運営の仕組みに生かす。	①教育相談や関係機関等との連携で得た情報を共有することで問題の未然防止、早期発見・対応につなげることができたか。 ②生徒が中心となって行事を企画・運営するとともに、行事の企画運営の仕組みづくりに生かせるような知見を得ることができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		中間報告		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	・多様な生き方に対応した情報収集や情報提供を行い、働くことを理解できるように入学から卒業までの体系化したキャリア教育を確実に実践し、社会を構成する一員としての自覚を育む進路指導・支援に取り組む。	①キャリア教育実践プログラムを基に、進路ガイダンスやLHRを活用した体系的な計画を立て、生徒一人ひとりの進路を実現する。 ②生徒の就職に対する考え方、職種や業種研究、社会人としてのマナーを学ぶ機会を設け人材育成を図る。	①昨年度に引き続きキャリア教育実践プログラムを共有するために様々な場面で発信していく。 ①昨年に引き続き、年間を通して合同企業説明会への参加、進路ガイダンスを実施し、自らの進路に対する関心を高める。 ②インターンシップを実施し生徒のキャリア教育の充実を図る。	①キャリア教育実践プログラムの情報発信ができたか。 ①合同企業説明会の参加と、進路ガイダンスを通じて自分の進路について、具体的なイメージを持つことができたか。 ②インターンシップを実施することで、生徒の就職に対する意識や心構えを改善できたか。					
4	地域等との協働	・地域・企業との連携・協働を通して教育活動を活性化させ、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。	①地域に根ざした学校づくりを目標に、貢献活動や地域との連携・協働をしていく。 ②学校PRのため、定時制HPの更新に努め中学生やその保護者への学校情報の発信に努める。	①地域行事への参加等貢献する意識を啓発する。企業との積極的なかわりを持つ。 ②本校HPを活用して学校のPRや情報を発信する。	①全校生徒が、地域貢献活動に参加できたか。 ②HP更新回数が増えたか。学校説明会において本校の教育内容が理解されたか。					
5	学校管理 学校運営	・不祥事防止の徹底に取り組むとともに、防災意識を高め学校防災力の向上を図る。 ・組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①信頼される学校づくりを目指し不祥事事故の防止に取り組む。 ②災害時の防災安全意識と対応力を身に付ける。 ③職場環境や業務内容を見直し、働き方改革に取り組む。	①毎月不祥事防止研修会を職員会議前に行う。 ①適正な私費会計処理に努め、事故防止の意識をもって業務を行う。 ②防災訓練、役割担当を災害時の対応能力を身に付ける ③Teamsの活用と見える化をさらにすすめ、会議時間の削減やペーパーレス化を目指すとともに業務の効率化につなげる。	①毎月不祥事防止研修会が実施できたか。 ①私費会計が適正に処理されているか。 ②避難訓練を計画的に実施し身を守る安全意識が向上したか。 ③Teamsの活用等により、会議時間が削減できたか。また、業務の効率化が図れたか。					